スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

東京都中野区

自 治 体 名 ： 東京都中野区
担 当 課 名 ： 指導室
電 話 番 号 ： 03-3228-5545

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	15.59㎢
人口	343,794人
公立中学校数	9校
公立中学校生徒数	3,722人
部活動数 （運動部活動のみ）	69部活
地域クラブ活動数	2クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

令和7年度には運動部活動が69部、文化部活動が47部、区内にあり学校部活動におよそ85%の生徒が参加している。一方で地域にも野球等のクラブチームが多数存在し多くの生徒が所属している。そのため学校単独でチーム編成ができず、複数の学校が合同で練習や試合を行うことが年度によっては起こっている。また、専門的な指導ができる教員がいないため、生徒が希望する部を存続・設置できない学校が散見される。今後、生徒が希望するスポーツや文化芸術活動に取り組め、専門的な指導が受けられる体制を整えることが望まれている。

また、教員の本務である教材研究や生活指導等の時間を確保するためには、部活動指導や運営に関わる負担を軽減する必要がある。さらに今日において、教育等に関わる課題が複雑化・多様化し、学校や教員だけでは解決することができない課題が増えている。そうした課題に対応しながら、部活動を従前と同様の運営体制で行っていくことは難しくなってきており、部活動の在り方に関し、合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進に向けた改革に取り組む必要がある。

（１）学校部活動の設置数等

	設置数
運動部	６９部活動
文化部	４７部活動
合計	１１６部活動

※出典　中野区教育委員会事務局指導室

314020	中野区	第二	350	125	101	124	27	－	－	24	－	13
314050	中野区	第五	341	113	129	99	－	－	－	7	－	10
314070	中野区	第七	360	121	118	121	24	－	－	7	－	12
314140	中野区	北中野	422	133	139	150	－	－	－	13	－	12
314150	中野区	緑野	441	153	159	129	－	－	－	13	－	12
314160	中野区	南中野	334	104	116	114	－	－	－	15	－	9
314170	中野区	中野	443	152	142	149	－	－	－	25	－	15
314180	中野区	中野東	462	161	132	169	－	－	－	17	－	14
314190	中野区	明和	569	211	194	164	20	－	－	8	－	18

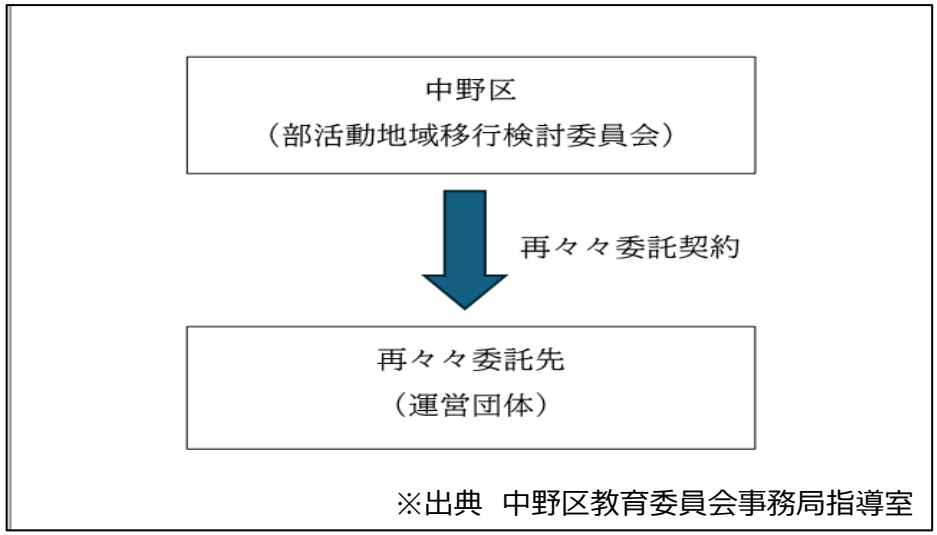
※出典　令和7年度公立学校統計調査報告書

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会（指導室）

・部活動地域移行の計画策定・推進

・学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドラインの策定

◉首長部局（スポーツ振興課）

・活動場所の管理・運営、確保、優先利用等の調整

・中野区体育協会など地域の関係団体との連携

・地域スポーツクラブ活動の取組を生かし、将来にわたり生徒がスポーツや文化芸術に継続して親しむことができる機会の確保・環境の整備

年間の事業スケジュール

令和7年4月	・部活動実施計画及び指導計画の策定
令和7年5月	・行政主導地域クラブ活動の周知及び募集
令和7年6月	・保護者説明会実施 ・部活動地域移行モデル事業実施
令和7年7月	・部活動地域移行モデル事業実施
令和7年8月	・部活動地域移行モデル事業実施
令和7年9月	・部活動地域移行モデル事業実施
令和7年10月	・部活動地域移行モデル事業実施
令和7年11月	・部活動地域移行モデル事業実施 ・ダンス部発表会開催
令和8年2月	・陸上競技部特別練習会実施 ・第1回部活動検討委員会
令和8年3月	・第2・3回部活動検討委員会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		2クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		0クラブ（0部活動）
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		2クラブ
全体の指導者数	4人	全体の運営スタッフ数	1人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
ダンスクラブ	民間事業者	ダンス	・平日　0回 ・休日　20回	9:00～ 17:00 （内2時間）	中1：20名 中2：　8名 中3：　3名	6月～11月	2人	1人 （内、兼務1人）	なし	なし
陸上競技クラブ	民間事業者	陸上競技	・平日　0回 ・休日　20回	9:00～ 17:00 （内2時間）	中1：20名 中2：12名 中3：5名	6月～11月	2人	1人 （内、兼務1人）	なし	なし

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●ダンスクラブは11月に所属生徒による発表会（実施回数外）を実施した。陸上競技クラブは2月に特別練習会を実施した。

2.実証内容と成果

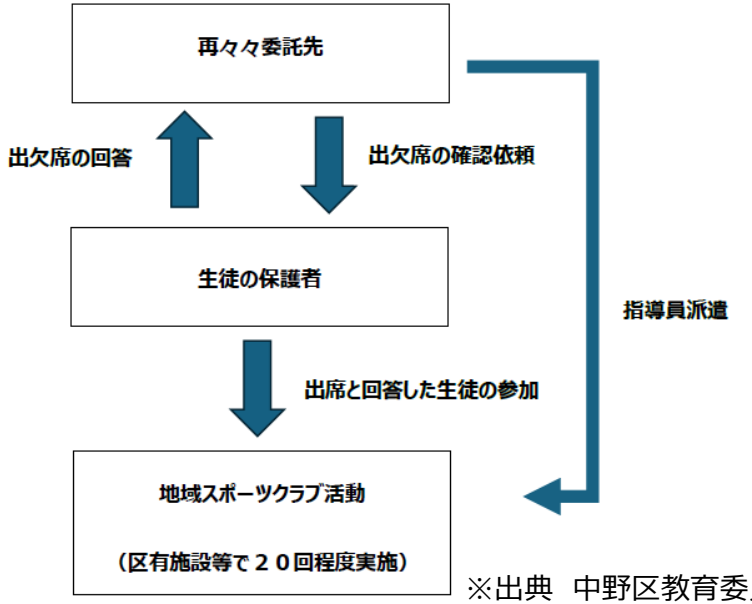
スポーツ庁

主な取組例

●ダンスクラブ、陸上競技クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ダンス、陸上競技
運営団体名	株式会社東京アスレティッククラブ
期間と日数	6月～12月 ダンス：月4回程度、計20回 陸上競技：月4回程度、計20回
指導者の主な属性	インストラクター
活動場所	ダンス：区内スポーツ・コミュニティプラザ 陸上競技：区内中学校校庭等
主な移動手段	徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	賠償責任保険 生徒1人あたり：204円/年 団体総合補償保険 生徒1人あたり：528円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



※出典　中野区教育委員会事務局指導室

●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●自治体

役割：参加者の募集、事前説明会、統括責任者との連絡調整を行う

●統括責任者

役割：中野区との連絡調整、部活動指導員の統括、年間指導計画の作成等、活動中止の判断、活動中の事故等への対応及び報告書の作成・提出を行う

●指導者　4名

役割：部活動指導、事故等への初期対応等、責任者及び他部活動指導員との連絡調整、部活動指導計画書の作成を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

委託事業者である東京アスレティッククラブ（以下、「委託事業者」という。）に統括責任者を1名配置し、生徒及び保護者との地域スポーツクラブ活動の開催等の連絡・出欠席の調整を行う。また、委託事業者から指導員を派遣し、各地域スポーツクラブ活動の指導にあたらせる。統括責任者は指導の状況を確認し、適宜指導員に助言等を実施する。

委託事業者は、地域スポーツクラブ活動を実施していく過程のなかで生じた懸念事項等を行政に報告し、中野区教育委員会事務局が主催する部活動地域移行検討委員会にフィードバックをすることで、次年度以降の運営に活用していく。このフィードバックには参加生徒からのアンケートも実施し、生徒の意見が地域スポーツクラブ活動に反映されるようにしていく。

取組の成果

生徒のニーズに合わせ、ダンス、陸上競技ともにあらかじめ2ジャンルを設定して募集を行った。申込みをした全生徒にアンケートを実施したところ、29名から回答があった。参加理由は、23名が興味のある内容だから、8名が学校の部活動にその種目がないから、と回答した。満足度では、ほぼ全員が肯定的回答をしており、興味と活動内容のミスマッチを最小限にすることができた。

また、委託業者に統括してもらうことで、行政主導地域クラブ活動として運営、指導、発表等までの部活動としての一連の流れを、教員が関わることなく運営することができた。

今後の取組における課題

- ダンス、陸上競技のいずれにおいても、定期的に参加する生徒と、登録はしたがあまり参加のない生徒とに分かれた。
- ダンスでは、発表の機会を単独で設けることが質・量・時間的に難しく、合同発表会等に参加させてもらっている状況である。
- 陸上競技では、大会の開催は規模的に難しく、特別練習会を開催した。また、屋外競技では天候により活動内容が左右される。

課題への対応方針

- ダンスでは、欠席した生徒も家庭等での練習ができるよう、アプリの活用を促進する。
- 陸上競技では、大会の開催が難しい場合は、外部の団体が主催する大会に参加するなど、練習の成果を発揮できる機会を設ける。
- 陸上競技では、練習環境の変化を最小限にするよう、委託事業者と会場校での連携を取れるようにする。雨天時も想定し、安定した活動を提供できるようにする。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 適切な指導員を確保・派遣し、指導にあたらせることができた。
- 地域スポーツクラブの会場の確保のための連絡・調整を行った。
- 生徒への連絡・当日の出欠席の管理を行った。
- 報告書を作成し、活動内容や活動の様子を毎週行政に報告した。
- 生徒のニーズを聞き取り、次年度以降の運営に生かした。

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- 「スポーツ団体ガバナンスコード〈一般スポーツ団体向け〉」に準拠した運営を行うことができた。
- 本事業の実施に当たっては、生徒の安全確保を最優先とし、運営団体・実施主体において、指導者の適正配置、安全管理体制の整備、個人情報の適切な管理、不適切行為の防止、保護者・学校との連携を徹底する。

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- 保護者説明会を対面で実施し、事前に質問を受け付けたことで、生徒・保護者の理解を促進し、活動につなげることができた。
- 保護者説明会には、委託事業者、指導者、部活動管理のアプリの事業者にも参加してもらい、必要に応じて説明、質疑を行った。
- アプリを活用することで、急な天候の変化への対応、参加者の出欠確認、活動内容の報告等を統括責任者、指導者、参加者、保護者、中野区教育委員会で共有した。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- 活動中のトラブルや事故等の対応は、委託事業者が危機管理安全マニュアルを作成し、委託事業者の統括責任者が窓口となって対応できるフローとした。
- 事故等の発生はなかったが、事故等が発生した場合には現場の指導員、委託事業者により、保護者や関係機関等との連絡調整がとれる体制を敷いた。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

当該委託契約に指導経験の有無を指導員の要件としてあげ、指導経験豊富な指導員が派遣された。また、契約内容に指導方法やメンタルヘルスケア等の研修を受講させることも定めており、指導者の質の保障や量が確保されていた。

取組の成果

- ダンスにおいては、プロのダンスチームから指導者が派遣され、初めて取り組む生徒でも発表会で堂々と活動内容を披露することができた。
- 陸上競技においては、指導者資格を有する指導員を派遣してもらうことで、生徒に合わせた練習を実施することができた。
- 事後アンケートにおいて、活動の満足度、上達の満足度、指導者の対応については回答者29名全員が肯定的な回答をした。

今後の取組における課題

現在は委託事業者が指導力のある指導者をしっかりと確保してくれているが、今後、地域展開を進めていくためには、どれだけ安定的に質の高い指導者を多くの種目で確保していけるかが課題である。

課題への対応方針

現在は委託事業者が行っている研修の内容やノウハウを学び、区としての研修の在り方を部活動検討委員会で検討していく。

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

地域のスポーツクラブに指導者の確保を依頼し、これまで中学生年代の指導経験が豊富な指導者を、人材バンクや紹介に頼らずに確保することができた。

指導者研修の内容

研修名	中野区休日部活動指導者研修
講師	学校部活動指導士
研修内容	• 事業概要について • 休日部活動の経緯（参考：スポーツ庁ガイドライン） • 中野区の方針等 • 業務内容、スケジュールの確認 • 報告連絡体制について • 安全管理体制について • その他部活動における相互確認事項

指導者研修受講者の声

ダンスクラブ、陸上競技クラブともに令和6年度と異なる指導者になるため、全体像の説明を含めた内容となった。受講者からは前向きな感想が寄せられた。

参加者①
　中学生との関わり方がよくわかり、参考になった。
参加者②
　指導する上での安全管理や配慮するポイントなどがよく分かった。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

中野区体育協会との連携を強化して、スポーツ少年団や地域の競技団体から指導者派遣等の協力ができる体制を築くことができた。

取組の成果

ダンスクラブの指導は、本区に活動基盤をもつダンスグループの協力を得ることができ、活動を充実させることができた。

今後の取組における課題

講師の派遣だけでなく、部活動の地域展開に関わる協議会等にも参加を依頼し、区の方針を共有した上で、一緒に地域展開に取り組んでいけるよう連携を強化していくことが課題である。

課題への対応方針

助言等がより多く受けられるように、さらに連携する機会を増やしていく必要がある。

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

区立中学校だけでなく、区内私立中学校との合同部活動の実施について検討している。

取組の成果

ダンスクラブにおいては、発表会を近隣の私立の学校が見に来てくださり、今後の連携の可能性を広げることができた。

今後の取組における課題

- 幅広いニーズに対応できる指導者の確保。
- 交通事情等による安全面の確保。
- 私立中学校等とのスケジュール調整。

課題への対応方針

実際に、私立中学校の設備等を活用できるかを調整していく必要がある。相手方管理職との折衝を重ねていく。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

- ダンスにおいては、昨年度の課題を踏まえ、令和7年度は区内2エリアにある区有施設で20回ずつ（計40回）実施し、発表会を1回ずつ（計2回）開催することとした。また、発表会の開催は生徒が一堂に集まる文化発表会等で開催することを想定し、生徒がより練習に打ち込める環境を整えていく。
- 陸上競技においては、区内2エリアにある学校のグラウンド等で20回ずつ（計40回）実施し、大会を同様に2回開催する。大会に向けて技術・技能を高めていくようプログラムを検討し、生徒が行政主導地域クラブ活動を通じて成長の実感を得られるように取り組む。

今後の取組における課題

- 本事業により、運営団体主体の運営体制が整備され、教職員の負担軽減等に一定の成果が見られた。一方で、今後の取組においては、活動に多く参加した生徒が技術の向上を実感する段階で活動が終了する状況が見られ、アンケートにおいても約４割の生徒が活動回数の増加を求めていることから、活動機会の充実が課題である
- 陸上競技クラブにおいては、クラブの規模から大会の開催が難しく、各生徒が個人で大会へ参加する形となっているため、競技機会の確保についても課題がある。

取組の成果

- ダンス、陸上競技ともに募集段階からジャンルを設定し、目的をより明確化した取組を実施することができた。
- ダンスでは、発表会を位置付けたことで一貫した指導を実施することができた。
- 陸上競技では、初めて取り組む生徒が多く、基本的な体の使い方から指導を実施した。
- 生徒へのアンケートで、活動回数については29名中11名が少ない、17名がちょうどいい、1名が多いという結果になった。少ないと回答した生徒は、通年、30回、50回、週2回といった活動の拡大を希望する声があった。

課題への対応方針

- 課題への対応として、令和８年度においては、活動回数をこれまでの年間20回程度から30回程度へ拡大し、生徒がより継続的に参加できる機会を確保することで、技術の向上及び活動の充実を図る予定である。
- 陸上競技クラブにおいては、クラブ単独での大会開催が困難であることから、外部大会への参加も含め、生徒が目標を設定できる環境の整備について検討を進める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

今後、保護者負担で地域クラブ活動にかかる費用を徴収することを検討していく。

取組の成果

令和8年度は、令和6、7年度に引き続き保護者負担としないこととした。

今後の取組における課題

現在、給食費や教材費の無償化に区の施策として取り組む中で、地域クラブ活動の費用をどのように考えていくかは整理が必要。

課題への対応方針

部活動検討委員会等でも継続して検討していく。

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

陸上競技クラブでは、中野区内の中学校2校と、移転した中学校跡地の施設を使用した。

取組の成果

陸上競技クラブについては、すべての活動で中学校、中学校跡地を使用したため、施設使用料が不要であった。中学校が所有している備品等を活用させてもらうことで、活動内容を充実させることができた。

今後の取組における課題

土曜日授業や地域行事、学校の部活動が中体連公式戦や練習試合を行う等の場合は、一か所で合同で行うなど、練習会場を変更して行う必要がある。

課題への対応方針

活動日の学校との調整、既存の学校部活動を縮小させないような地域クラブ活動としての会場の借用など。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

陸上競技クラブにおける学校施設の利用に当たって、教職員の負担軽減を図る観点から、施設利用手続の簡素化、鍵管理等の自主管理及び外部委託の管理員との鍵の受け渡しを行った。また、活動中の安全管理の自立化、施設原状回復の徹底及び連絡調整の効率化を行う。

さらに、施設利用に係る日常的な運営については、運営団体・実施主体が主体的に対応する体制を整備し、学校への問い合わせや調整事項の集約を図ることで、教職員の関与が最小限となるよう工夫した。また、活動時間や利用方法についても学校運営に支障が生じないよう配慮し、安定的かつ継続的に施設を活用できる環境整備に努めた。

用具使用・管理等における取組

地域クラブ活動のための用具については学校の備品を活用するものとし、その使用に当たっては、運営団体・実施主体が主体的に管理責任を担う。具体的には、使用前の安全確認及び点検を実施するとともに、適切な使用方法を徹底し、破損や不具合の防止に努めるものとする。

また、用具の使用状況の把握及び保管方法の適正管理を行い、紛失や誤使用が生じないよう配慮する。活動終了後においては、用具の点検、整理整頓及び原状回復を確実に実施し、学校に追加の対応を求めることのないよう徹底する。なお、用具の使用に伴うトラブル等が発生した場合には、運営団体・実施主体が責任をもって対応し、必要に応じて学校と速やかに情報共有を行うものとする。

●取組項目名　ク：その他の取組

取組事項

現在、休日部活動について地域展開を進めているところであるが、2年度分のモデル事業の経験を踏まえて、次期改革期間において平日部活動の地域移行を推進できるよう検討していく。

取組の成果

令和8年度は、行政主導地域クラブ活動として新たに文化部を一つ設置することとした。

今後の取組における課題

- 安定的に運営のできる委託事業者の確保。
- 生徒のニーズにあった活動の展開。

課題への対応方針

「今後の取組における課題」に記載した課題への対応方針をご記載ください。事業計画書で計画していた取組が実施できなかった場合は、その際に挙がった課題への対応方針をご記載ください。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和５年度の生徒調査を踏まえ、令和６年度のダンスクラブに加え、令和７年度は陸上競技クラブを民間委託により実施した。
ダンスクラブについては、区内スポーツ・コミュニティプラザにおいて活動を実施し、合同発表会を目標として設定したことにより、生徒の部活動への意欲の向上を図ることができた。また、活動回数を月３～４回程度とし、令和６年度と比較して２倍以上に増やしたことで、生徒の技術向上の機会を確保した。一方で、活動が１１月で終了することから、継続的な活動機会の確保が課題として挙げられる。

陸上競技クラブについては、区内中学校の施設を活用し、初めて陸上競技の指導を受ける生徒が多い中で、基本的な身体の使い方を中心とした活動に取り組むことにより、自身の動きの変化を実感できる機会となった。しかしながら、休日に活動を実施していることや、学校部活動に所属している生徒も多いことから、スケジュールの調整が難しく、参加者が少なくなる場合も見られた。生徒が希望する活動に参加できるよう、参加機会の在り方について検討する必要がある。

また、定期考査前や学校公開日等において参加者が著しく減少する状況が見られたことから、学校の行事予定等を踏まえた活動日の設定について、今後改善を図る必要がある。

●成果の評価

本事業では、運営団体が主体となった施設利用及び活動運営により教職員の負担軽減が図られるとともに、手続の簡素化や連絡調整の効率化により安定した運営体制が確立された。

また、安全管理の自立化及び施設原状回復の徹底により、学校施設の適切な利用が確保され、持続可能な地域クラブ活動の実施に向けた基盤が整備された。

●今後に向けて

昨年度に引き続き、生徒は楽しそうに練習や合同発表会に参加していたため、区立中学校にない部活動を実施する意義は大いにあったように思える。中野区として、部活動地域展開をより拡充し、生徒たちが参加しやすく、やりがいを感じる部活動の環境整備を実現していく必要がある。

今年度の反省を踏まえて、活動実施回数や内容、大会や発表等の機会をどう設定するかを改善する。

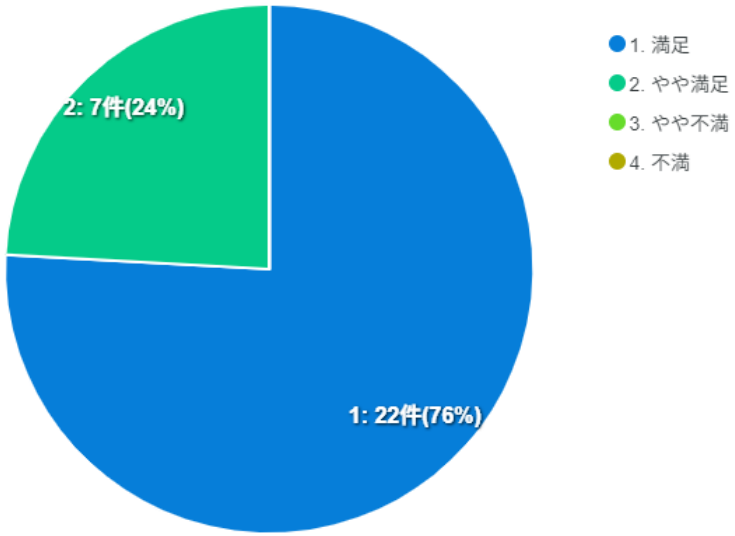
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

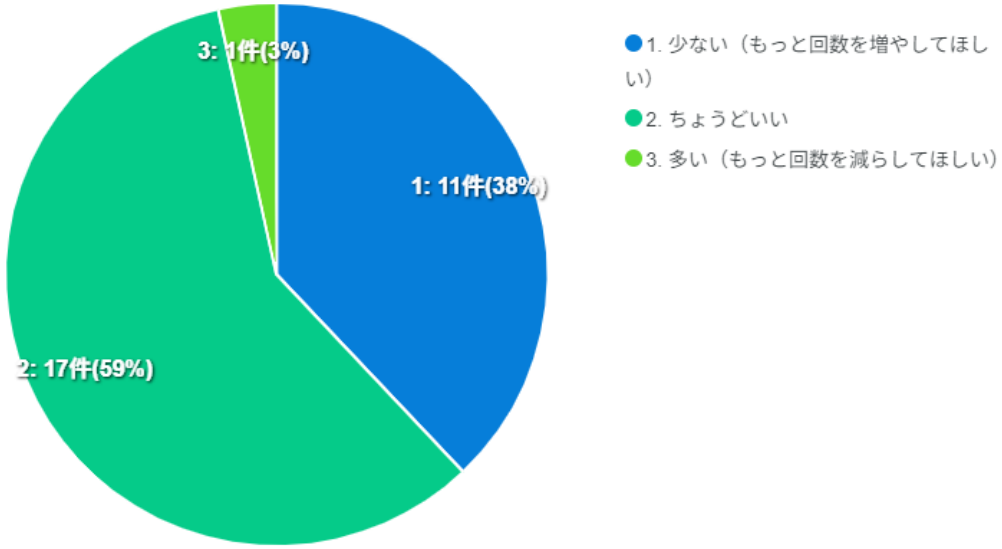
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果

クラブ活動に満足しましたか？



今年度は２０回の活動でしたが、活動回数はどうですか？



●参加者/関係者の声

参加者

楽しかったので、2年生でも参加したいです。学校や学年が違ってもダンスという活動でたくさんの友達ができてとても嬉しかったです！

保護者

発表会に対してはすごくやりがいを感じていて、自宅でも練習動画を視聴したり、動画撮影をしながら個人練習をしていました。

指導者

これまで経験のない種目で最初はうまくいかないことが多かったけれど、回を重ねるごとに上達していく姿を見れてうれしかった。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料



【ダンス練習】



【陸上競技練習】



【ダンス練習】



【陸上競技練習】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年	令和5年		令和6年	令和7年
部活動検討委員会設置、検討開始	中野区として目指す「部活動の地域連携・地域移行」の方向性の検討	アンケートによる実態調査 部活動検討委員会での分析	・実施種目の決定 ・委託業者の選定 ・学校、生徒、保護者への周知	行政主導地域クラブ活動の開始	行政主導地域クラブ活動の拡充

●ステークホルダー

大学教授、スポーツ振興課（区長部局）、文化振興・多文化共生推進課（区長部局）、指導室、学校

●経過

中野区の実態に合った部活動の地域連携・地域移行を進めるための方向性の検討の実施。

●実施にあたって生じた課題

・中野区の部活動における実態の調査が必要であること。

●実施内容、工夫した点 等

以下の3点を主に協議した。

・中野区の部活動の地域移行の形

・中野区の活用できる人的資源

・部活動の地域移行における課題

区内の関係者の今後の連携体制の基礎を築くことができた。

●ステークホルダー

大学教授、スポーツ振興課（区長部局）、文化振興・多文化共生推進課（区長部局）、指導室、学校、地域のスポーツクラブ（東京アスレチッククラブ）

●経過

アンケートの内容等を部活動検討委員会で検討し、実施した。

そのアンケート結果をもとに部活動の地域連携・地域移行モデル実施種目を決定した。

●実施にあたって生じた課題

指導者や活動場所の確保

●実施内容、工夫した点 等

・部活動実態調査アンケートの実施。

・アンケート結果を受けての中野区の取組の検討。

・スポーツ振興課を通して指導者、活動場所の確保に向けて地域のスポーツクラブとの連携を図ることができた。

●ステークホルダー

大学教授、スポーツ振興課（区長部局）、文化振興・多文化共生推進課（区長部局）、指導室、学校、地域のスポーツクラブ（東京アスレチッククラブ）、地域に拠点を置くプロダンスチーム

●経過

令和6年度の中野区ダンスクラブのモデル実施後の、生徒ヒアリングでヒップホップ系のダンスにニーズが高いことがわかった。そのため、地域に拠点を置くプロダンスチームと連携した指導体制について検討を行った。また、行政主導地域クラブ活動の他種目の検討を行った。

●実施にあたって生じた課題

・生徒のニーズに合った内容、実施回数の確保

・受益者負担について

●実施内容、工夫した点 等

・今年度のモデル実施をもとに、参加者に直接ヒアリングを行い、次年度の内容を検討した。

・持続可能な指導体制の構築に向けて地域の団体・人材との連携を深めた。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

■ 今後の部活動の地域展開について

区は「行政主導地域クラブ活動」と「地域クラブ活動」で部活動改革・部活動の地域展開に取り組みます！

部活動改革の理念等

・将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実
・すべての生徒が希望に応じて多種多様な活動に参加できる環境を整備
・学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、地域全体で支えることで新たな価値を創出

取組方針

・休日…改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す
・平日…各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進

改革期間

【前期】令和8年度～10年度　【後期】令和11年度～13年度　※令和10年度に中間評価あり

【中間評価】

令和8年度～10年度「改革実行期間」(前期)	令和11年度～13年度「改革実行期間」(後期)

「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」骨子　令和7年10月　スポーツ庁・文化庁より

※出典　中野区教育委員会事務局指導室